

## 活動紹介 (HP 掲載用)

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	森に親しむ野外講座 県外 富士山麓青木ヶ原樹海散策		
開催日時	2022年10月18日(火) 7:10 出発 ~18:10 帰着		
開催場所	山梨県南都留郡富士河口湖町 青木ヶ原樹海	一般参加者	15名

曇り空の中、ストレッチをして出発しました。

樹海の入口には赤い実のツルアリドオシが、少し中に入ると赤い実のミヤマシキミがみられました。樹海の中に進むと空中に浮かぶように黄色く紅葉した一枚葉のヒトツバカエデ、また、地面のあちらこちらに落ちた同じく黄色の三枚葉のタカノツメと五枚葉のコシアブラが樹海に彩りを添えてくれました。

また、樹海には溶岩の上に樹木が育ったことを示す倒木が見られました。大きな特徴は固い溶岩があるため根っ子が地中(下)に伸びられず横に伸びた状態であることですが、それでは樹木自身の重さに耐えられず倒れてしまったものです。

その他にも、溶岩の上にびっしり張り付いたコケや溶岩からガスが噴出した穴、ガスが噴出したことにより落盤した跡なども確認することができました。

樹海の後には、台風の大雨による土石流で流された茅葺屋根の集落が再生された「西湖いやしの里根場(ねんば)」で、まず砂防資料でお勉強したのちに、美しき日本の原風景ともいえる景色を懐かしみました。フジアザミはこちらで咲いていました。

最後は、「富岳風穴」を見物。氷筍が見られる寒い洞窟では冷蔵庫代わりに使用され、養蚕のカイコの種(卵)の保管の様子が再現されていました。冷蔵保管によりそれまで年1回のカイコの生産が年2~3回になり、明治期には主力輸出産業であった生糸の生産を支えた場所であることを確認しました。



出発前の様子



ツルアリドオシ



ミヤマシキミ



ヒトツバカエデ



地中に伸びられなかった根っこ



フジアザミ

F I C 講師：執行、片山、風見、西